

第2回「仕事と育児の両立支援に係る総合的研究会」 議事次第

平成 29 年 6 月 27 日（火）10:00～12:00

於：中央労働委員会 6 1 2 会議室（6階）

議題

1. 有識者等からのヒアリング

- (1) 「男性の育児休業取得が働き方、家事・育児参画、夫婦関係等に与える影響」

（内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官 中村かおり氏）

（内閣府経済社会総合研究所客員研究員（成城大学特別任用教授）

高村静 氏）

- (2) 「現行育児休業制度の課題と父親の「取得率」の意味：国際比較の視点から」（甲南大学 中里英樹氏）

2 その他

配付資料

- 1 男性の育児休業取得が働き方、家事・育児参画、夫婦関係等に与える影響（内閣府経済社会総合研究所の調査結果から）
- 2 現行育児休業制度の課題と父親の「取得率」の意味：国際比較の視点から
- 3 本研究会の大きな論点（案）
- 4 第1回研究会 委員の主なご発言（事務局作成・未定稿）

参考資料

- 1 「国際比較から見る日本の育児休業制度の特徴と課題：ノルウェー・スウェーデン・ドイツ・ポルトガル」独立行政法人労働政策研究・研修機構編『ヨーロッパの育児・介護休業制度（JILPT 資料シリーズ No186）』独立行政法人労働政策研究・研修機構, 1-17

- 2 「父親の育児休業取得の条件と意義：取得期間別の特徴に注目して」独立行政法人労働政策研究・研修機構編『育児・介護と職業キャリア：女性活躍と男性の家庭生活（労働政策研究報告書 No. 192）』独立行政法人労働政策研究・研修機構，169-82